

令和5年9月末のうそ電話詐欺被害状況



1 認知件数及び被害金額

認知件数は、79件(前年同期比+46件)、被害額は、2億4,161万1,900円(前年同期比+2億905万2,415円)です。

う そ 電 話 詐 欺		令和5年9月末(暫定値)		前 年 同 期 比		令和4年中(確定値)	
		件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
	オレオレ詐欺	1件	2,000,000円	+1件	+2,000,000円	2件	8,200,000円
	預貯金詐欺	1件	500,000円	+1件	+500,000円	0件	0円
	架空料金請求詐欺	57件	89,371,246円	+44件	+71,414,916円	31件	53,133,010円
	還付金詐欺	4件	1,943,454円	-9件	-6,063,227円	18件	10,729,317円
	融資保証金詐欺	4件	1,900,976円	+2件	+49,502円	2件	1,851,474円
	金融商品詐欺	7件	131,933,804円	+7件	+131,933,804円	0件	0円
	ギャンブル詐欺	0件	0円	±0件	±0円	0件	0円
	交際あっせん詐欺	0件	0円	±0件	±0円	0件	0円
	その他の特殊詐欺	5件	13,962,420円	+5件	+13,962,420円	0件	0円
	キャッシュカード詐欺盗	0件	0円	-5件	-4,745,000円	5件	4,745,000円
	合 計	79件	241,611,900円	+46件	+209,052,415円	58件	78,658,801円

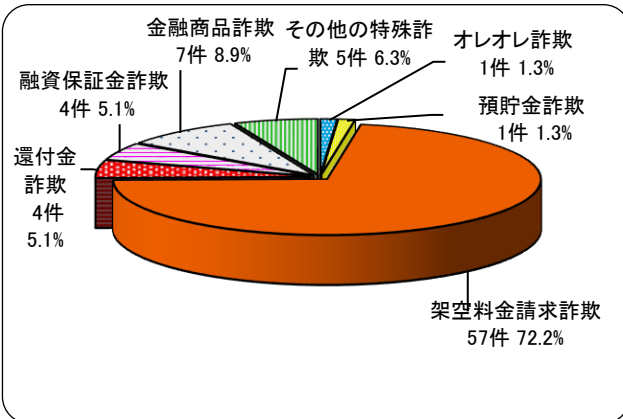
※ 認知件数には、未遂(実害なし)が1件含まれます。架空料金請求詐欺のうち1件は法人被害です。

※ 『キャッシュカード詐欺盗』とは、犯人が電話でだまされた被害者の隙を見て、キャッシュカードを別のカードにすり替える手口で罪名は窃盗であるが、キャッシュカードを手渡すうそ電話詐欺と同視し得るため、実質的な被害とみなし計上しています。

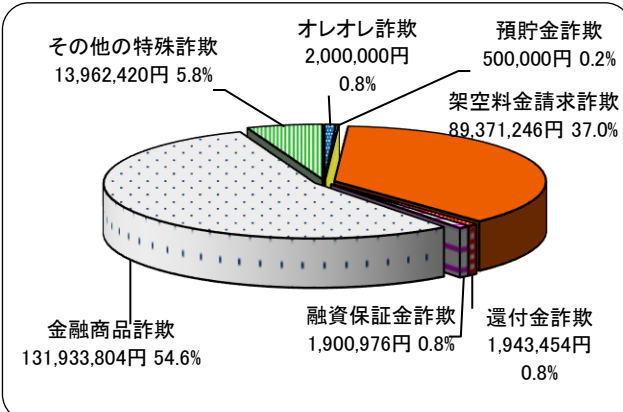
県警あんしんメールでも、うそ電話詐欺に関する情報を発信していますので登録をお願いします。(空メールを送信)



【手口別認知件数状況】



【手口別被害金額状況】



※ 割合(%)については、小数点以下第2位を四捨五入しています。

◆ 9月の被害(12件) ◆

★架空料金請求詐欺

・携帯電話にNTTファイナンスや情報を保護する機関等を装う者から電話で有料サイト等の「未納料金がある。支払わなければ裁判になる」などと言われ、電子マネーカードを購入させられる被害に遭った。(2件)

・自宅や携帯電話に老人施設への入居勧誘の電話があり、権利譲渡を承諾後、別業者から「名義貸しは犯罪になる」などと契約金や解約金の一部負担や、弁護士を騙る者から金融庁や裁判所への支払いを要求され、宅配便での送金や振込、電子マネーカードを購入させられる被害に遭った。(2件)

・パソコンに警報が表示され、連絡先の相手から修復費用や「銀行口座を止める必要がある」などと電子マネーカードの購入や振込をさせられる被害に遭った。

・スマートフォンに「7億円の支援金を受け取れる」とメールが届き、受け取るための会員登録やポイント購入を指示され、ポイント分の電子マネーカードを複数回購入させられる被害に遭った。

★金融商品詐欺

SNS上の投資広告やサイトを通じ、暗号資産を購入する投資を勧められ、相手を信用して指示どおりネットバンキングや金融機関で複数回振込を行い被害に遭った。(3件)

★融資保証金詐欺

サイトやSNSでアクセスした融資元の相手から預かり金や信用度を確認するための一時金等の振込を指示され、複数回振込を行い被害に遭った。(2件)

★その他の特殊詐欺

副業サイトにアクセスしてSNSでやりとりするようになり、相手の指示どおりにすればお金が稼げると信じ、消費者金融からの借入金で振込をさせられる被害に遭った。

2 年代別・男女別被害状況

※ 架空料金請求詐欺のうち1件は法人被害のため、「年代別・男女別」の件数には含まれておりません。

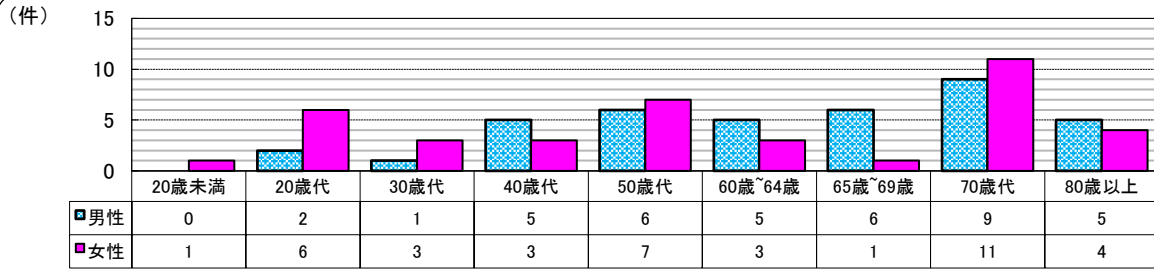
※ 還付金詐欺については法人被害ですが、「年代別・男女別」については、振込みを行った行為者を計上しています。

年代	性別	件数	割合	金額	割合
65歳未満	男性	19件	24.4%	66,476,176円	27.6%
	女性	23件	29.5%	87,874,604円	36.4%
	小計	42件	53.8%	154,350,780円	64.0%
65歳以上	男性	20件	25.6%	55,131,000円	22.8%
	女性	16件	20.5%	31,810,120円	13.2%
	小計	36件	46.2%	86,941,120円	36.0%
合計		78件	100%	241,291,900円	100%
男女別(内訳)	男性	39件	50.0%	121,607,176円	50.4%
	女性	39件	50.0%	119,684,724円	49.6%

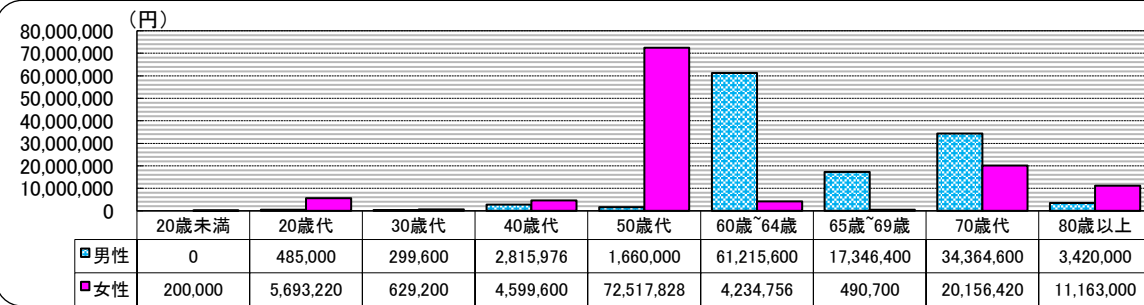
「+」で始まる国際電話番号による電話詐欺が急増(特に「+1」で始まるアメリカからの番号での犯行が急増)しています。
(例+1312345678)
心当たりのない電話番号が表示されたら電話に出ない。かけなおさないようにしましょう。

【年代別・男女別認知件数】

海外との電話が不要な場合は、国際電話不取扱受付センターに申し込みは無償で休止できます。(お申し込み・お問い合わせ先 電話 0120-210-364)



【年代別・男女別被害金額】



3 送金方法等

送金方法等	件数	被害金額	割合
振込型(窓口・ATM・ネットバンク等)	40件	188,473,900円	78.0%
送付型(宅配便・レターパック等)	8件	24,315,000円	10.1%
現金手渡し型	1件	2,000,000円	0.8%
キャッシュカード手渡し型	2件	500,000円	0.2%
電子マネー型	41件	26,323,000円	10.9%
収納代行型(コンビニ決済など)	0件	0円	0.0%
その他	0件	0円	0.0%
キャッシュカード窃取型	0件	0円	0.0%
合計	92件	241,611,900円	100%

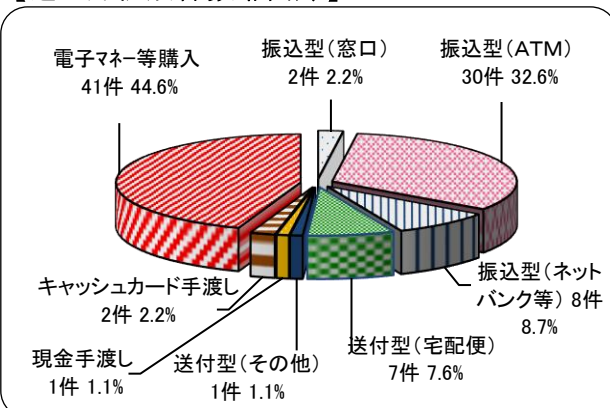
料金の支払方法として、コンビニ等で「電子マネーカード」を購入して番号を伝えるよう指示されたら詐欺を疑いましょう。
宅配便で、現金を送らせるのも詐欺です！
高額な振込被害が出ています。お金に関係することには、慎重に対応し、相談しましょう。

※ 一人の被害者が、2種類以上の送金方法等を利用した場合は、それぞれの送金方法を計上しています。

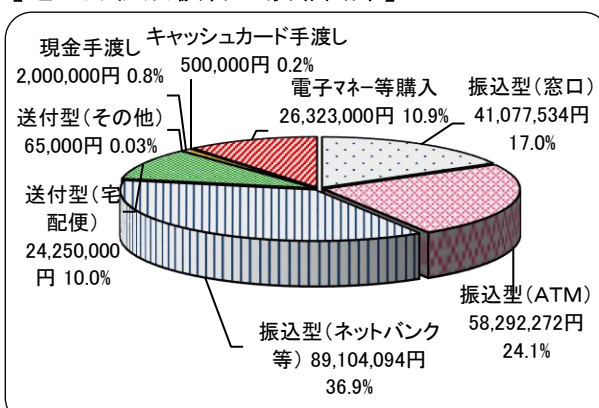
※ 未遂(実害なし)については、送金等がないことから送金方法に計上していません。

※ 収納代行型とは、通信販売等の代金の支払いについて、利用者が本来支払うべき相手に直接支払うのではなく、収納代行会社が決済手続きを代行する仕組みを悪用したものをいいます。

【送金方法別件数(詳細)】



【送金方法別被害金額(詳細)】



※ 各表及びグラフの割合(%)については、小数点以下第2位を四捨五入しています。